

9

営繕のあゆみ'97



沖縄県土木建築部施設建築室

目次

1 特集 沖縄県工業技術センター建設工事	1
2 主要事例掲載	
総務部	8
知事公舎建設工事	
宮古合同庁舎建設工事	
八重山合同庁舎建設工事	
県立芸大付属研究所棟建設工事	
生活福祉部	21
県立石嶺児童園建設工事	
土木建築部	24
金城ダム管理所建設工事	
県宮沢岬高層住宅建設工事	
3 工事概要一覧表	27
4 事業・予算の流れ	29
5 工事費・工事件数の推移（過去5年間）	29
参考資料	
沖縄県行政機構図（平成9年度）	

特集

沖縄県工業技術センター建設工事



上：西側外観



下：実験棟より中庭を望む



上：西側遠景



下：正面入口より交流棟をみる



上：玄関ホール



中上：玄関ホールより屋外広場を見る 中下：屋外広場をみおろす

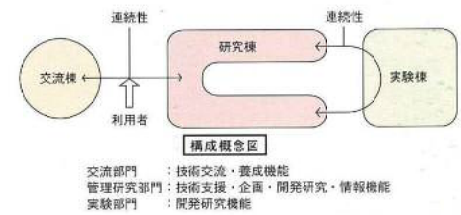


下：屋外広場をみおろす

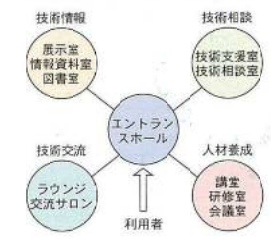


計画基本方針

- ①合理的かつ快適な施設構成
- a 施設構成は交流棟、研究棟、実験棟と大きく3つに分け異なった性格を持つ各施設が、それぞれの機能性を明確にしながらも連続的につながり合う空間構成とする。
 - b 研究棟は各分野ごとにまとまりある構成とし、研究居室の環境が快適かつ効率的なものとなるよう計画し、緊急時の避難も充分検討する。
 - c 交流棟は、屋外広場と一体感のあるゆったりとしたロビーをとり、多目的な利用を考慮する。また、高齢者や身体に障害のある方々のための誘導ブロック、専用トイレ、専用エレベーターを設置する。



- ②開かれた研究機関
- 開発研究体制の脆弱な県内企業に対し開発研究の成果を還元するため、多様な技術支援の積極的な場が求められている。エントランスホールを中心に技術交流、技術情報、技術相談、人材養成の諸室を置くことで、「開かれた研究機関」として利用者の積極的な利用が期待できるような計画とする。



- ③周辺環境に調和したシンボル性ある形態
- 中城湾港湾計画により、建設敷地を含む埋立地は、将来県内最大の工業流通団地となり、また、国内外貿易の拠点となる。本計画では、以上の立地環境の上に、「海浜に立つ研究所」をキーワードとして、イメージ豊かなシンボル性のある形態とする。

- ④気候・風土を考慮した施設
- 亜熱帯海洋性という沖縄の気候と計画地の自然環境を把握し、日照・通風・塩害対策また、それに伴う省エネ対策も考慮した施設とする。さらに、沖縄の原風景を創成してきた材料及び色彩による演出を考える。

- ⑤効率的で維持管理の容易な施設
- 施設の性格上、建物が分散配置となるため管理の一元化を計り、技術の将来変化に対応し得るフレキシブルな施設計画とする。また省エネ化への配慮として、遮光・通風・断熱等の建築的な問題と、空調・照明・水資源・新エネルギー等の設備的な問題とを総合的に検討する。

□建設データ

施設名称 沖縄県工業技術センター
均等割付 具志川市洲崎12番地の2
用途地域 工業地域（建蔽率30%、容積率200%）
主要用途 研究施設
総工事費 5,895,362,250円

構造

鉄筋コンクリート造（一部SRC造及びS造）
基礎 400φ既製コンクリート杭基礎

規模

地上3階 軒高14,400mm 最高高さ18,650mm
敷地面積 30,000.005㎡
建築面積 9,163.060㎡
延床面積 13,573.520㎡

工程

基本設計 H6. 9. 27～H7. 3. 25
実施設計 H7. 11. 22～H8. 3. 20
工事期間 H8. 10. 14～H10. 2. 27

設計

(株)泉建築設計事務所・(株)設備研究所JV

施工

建築1工区 仲本工業・新松建設・山徳組JV
建築2工区 三善建設・金城キク開発・昭和システム産業JV
建築3工区 福地組
建築4工区 日進建設
建築5工区 仲本建設・松田工務店JV
電気1工区 大松建設・カリマタ電機・ニケン電工JV
電気2工区 守江電気・東江電気工事・大謝名電工JV
電気3工区 三協電設・日本電設・國場電設JV
空調1工区 大城組・協伸設備・東邦JV
空調2工区 東洋設備・世名城・三崎工業JV
空調3工区 中部ユティリティ・仲間設備JV
衛生1工区 大友設備・大伸設備工業JV
衛生2工区 鋭波工務店・クラウン電水工業・永山水道工事社JV
衛生3工区 世名城・良政産業JV
昇降機 沖縄三菱電機販売
外構 仲本工業
植栽1工区 宮里農園
植栽2工区 樹苑

外部仕上

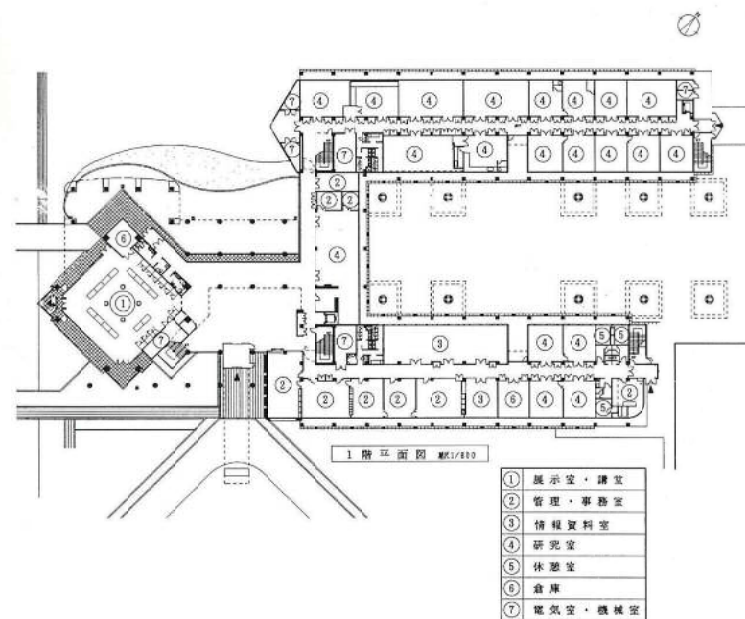
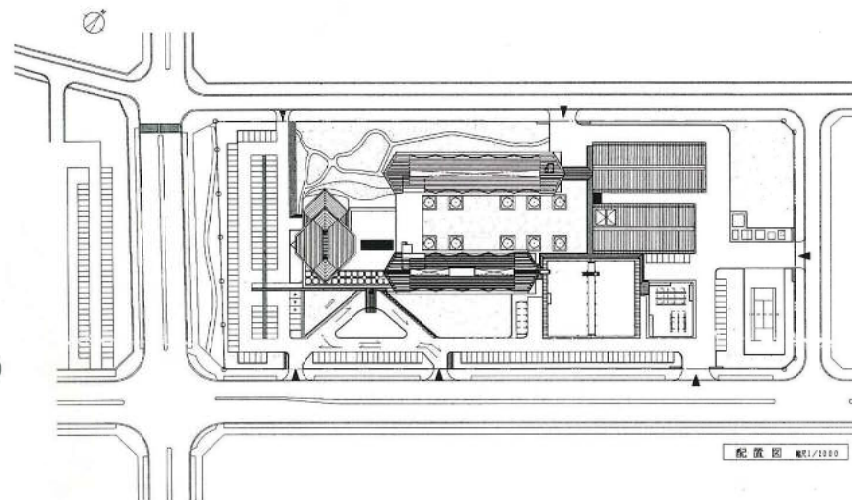
屋根 コンクリート金こて押さえの上アスファルト防水（一部県産平瓦葺き）
外壁 100×100磁器質タイル貼り
開口部 アルミサッシ着色陽極酸化塗膜複合皮膜

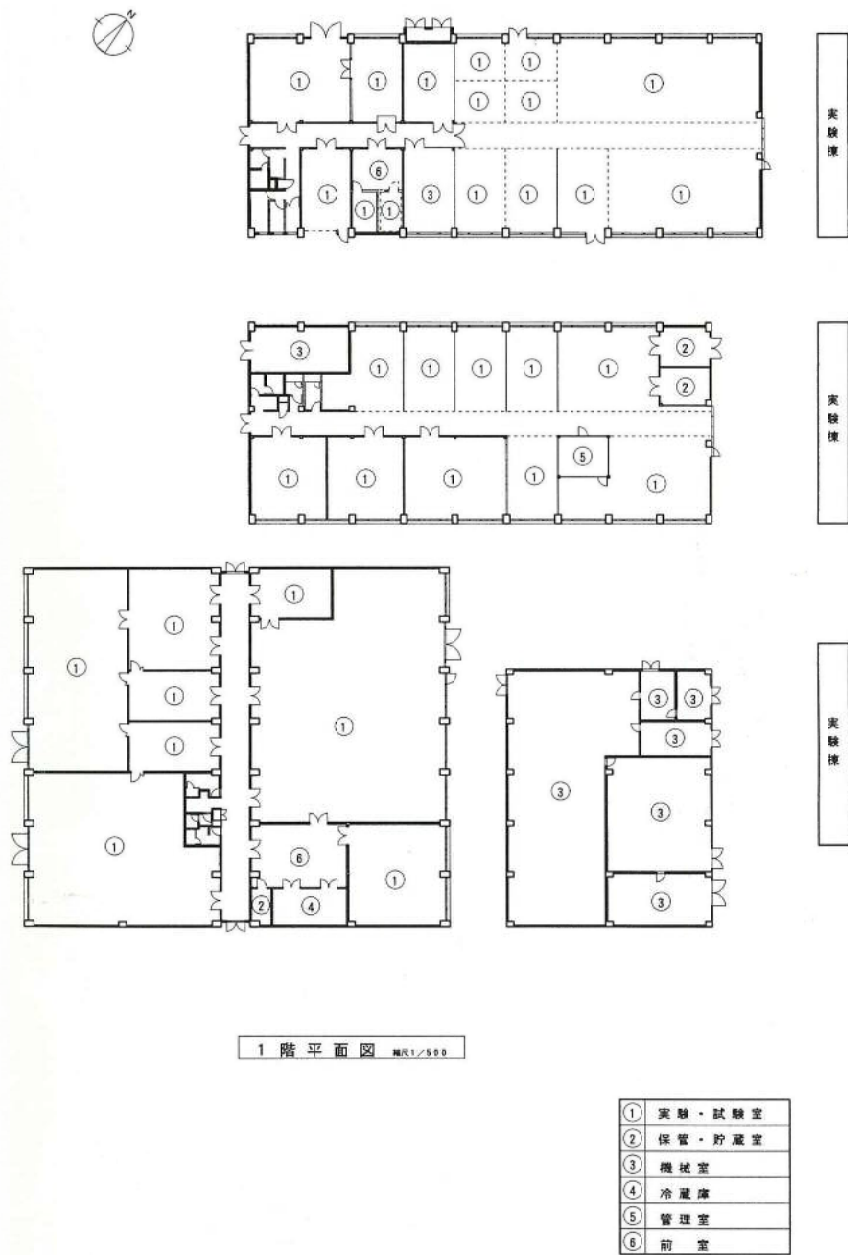
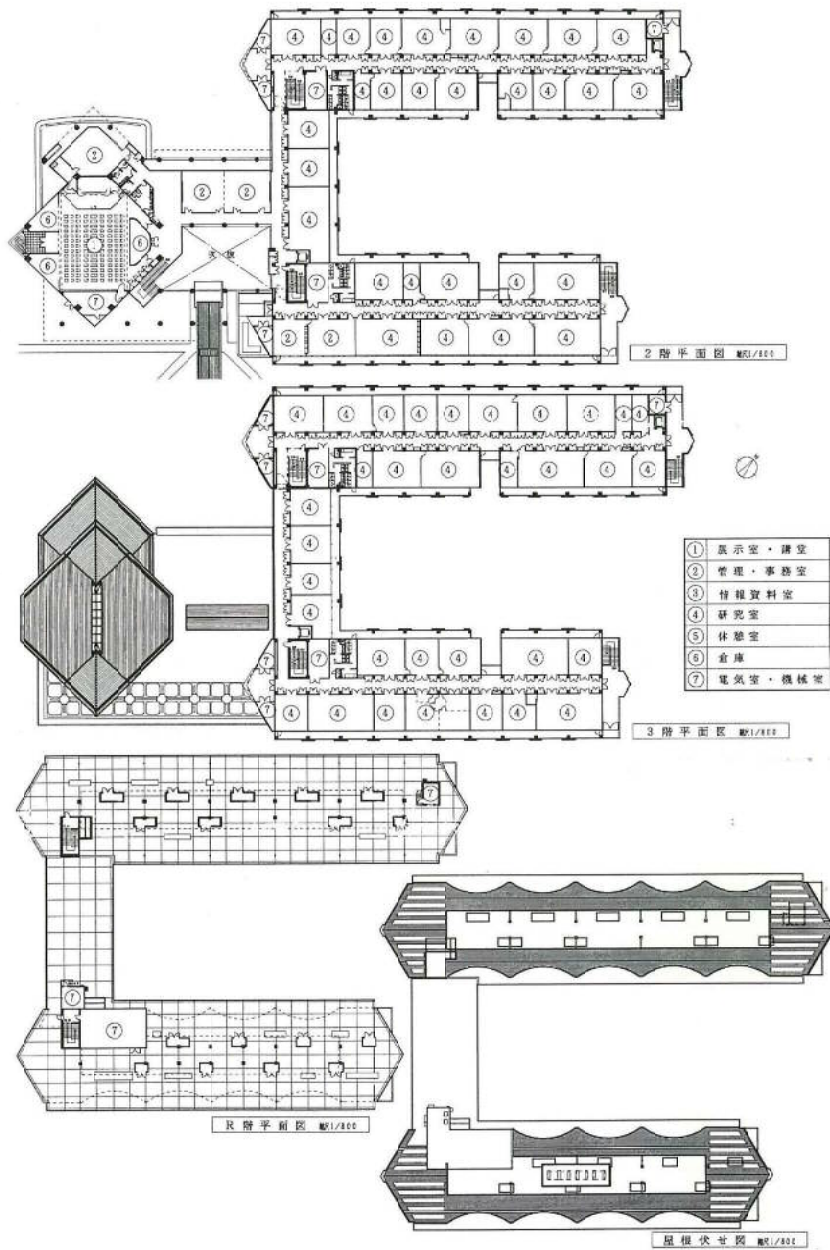
内部仕上

交流棟玄関ホール
床 磁器質タイル
壁 二丁掛けタイル他
天井 t6ケイ酸カルシウム板
交流棟展示室
床 磁器質タイル
壁 クロス張り
天井 t9石膏ボード下地t19岩綿吸音板貼り
研究棟事務室
床 ビニール床タイル
壁 t12+12石膏ボード
天井 t9石膏ボード下地t19岩綿吸音板貼り
研究棟研究室
床 ビニール床シート
壁 t12石膏ボード
天井 t9石膏ボード下地t19岩綿吸音板貼り
研究棟会議室
床 ビニール床シート
壁 t12石膏ボード
天井 t9石膏ボード下地t19岩綿吸音板貼り
便所
床 磁器質モザイクタイル
壁 t12耐水ボード下地t5ケイカル板貼り
天井 t6ケイ酸カルシウム板貼り
実験棟
床 コンクリート金ゴテ押さえ
壁 コンクリート打ち放し
天井 t25木毛セメント板打ち込み

設備

空調 氷蓄熱方式
給湯 深夜電力使用蓄熱中央方式
給排水 高置タンク方式





総務部

知事公舎建設工事



上：北西外観



上：レセプションルーム内観



下：庭よりレセプションルームをみる



下：私邸より公邸をみる

知事公舎

計画の基本方針

知事公舎の建設は、知事公舎建設基本構想（平成8年7月10日）に基づき、賓客の応接や会議等を行う公邸としての機能と、知事や家族の私的な生活の場としての機能を確保する公舎とする。

1 建設の基本理念

本県は、国際化の進展に対応して、わが国の南の国際交流拠点の形成を図るため、長期的な観点から、国際都市形成に必要な各方面における基盤整備を促進しており、知事公舎建設に当たってもこのような点に留意する必要がある。

又、知事公舎は、公邸・私邸としての機能を備えるとともに、沖縄の歴史、文化、風土にマッチした施設とするよう留意し、更に、大規模災害が発生した場合には、災害対策機能を持った施設として整備する必要がある。

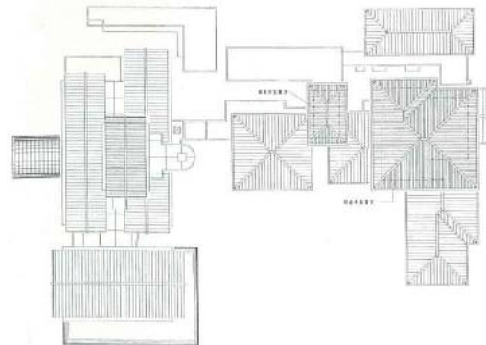
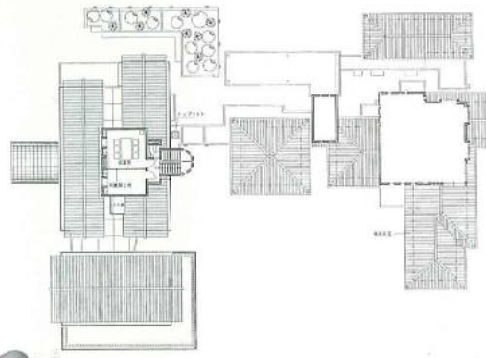
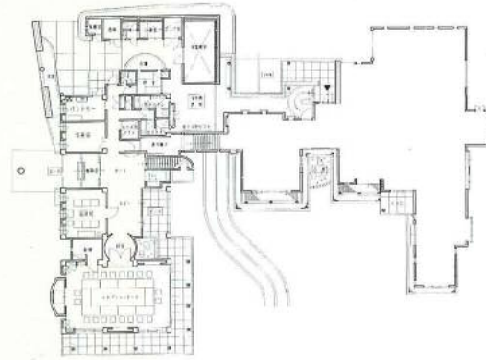
以上のことから、次の点を知事公舎建設の基本理念とする。

- ① 国際化の時代に対応し、国内外の賓客を迎えるにふさわしい施設とする。
- ② 沖縄の歴史、文化、風土にマッチした「沖縄らしさ」を実感させる施設とする。
- ③ 公邸と私邸を分離し、それぞれの機能を備えた施設とする。
- ④ 大規模災害が発生した場合には、災害対策本部のサブ的な機能を果たし得る施設とする。

2 建設の基本方針

知事公舎は、基本理念を踏まえ、執務及び居住の機能を十分満たしたものにすため、次の基本方針により建設する。

- (1) 位置……現在の知事公舎所在地は、琉球政府時代の主席公舎として、又復帰後の知事公舎として広く県民の間に定着している。さらに県庁に近く、与儀公園に隣接した小高い丘にあって、緑に囲まれた閑静な環境に恵まれていること、また敷地が全て国有地であること等、公舎敷地として良好な立地条件を備えている。
よって、建設場所は現在位置とする。
- (2) 機能……知事公舎は、公邸部分と私邸部分に分離することとし、それぞれ次の様な施設・設備を整備する。
(ア) 公邸部分……○国内外の賓客を迎えるにふさわしいレセプションルーム、応接室を設ける。
○レセプションルームには、大規模災害の発生に備え、災害対策本部のサブ的な機能を果たし得る設備を設置する。
○公邸部分の管理に必要な、事務室・庁務員室・パントリー等を設ける。
(イ) 私邸部分……○私邸部分は、知事が家族とくつろぐ場所として、良好な居住環境の確保に必要な、施設・設備を整備する。
- (3) 規模……公邸部分は、賓客の応接、レセプションや会議の開催、災害対策等に必要な面積を確保する。
私邸部分は、家族構成を4人程度と想定し、ゆとりをもって生活できる面積を確保する。
公邸及び私邸部分を合わせた床面積は、概ね600㎡とする。
- (4) 敷地造成……現敷地は、段差のある地形になっていることから、建設に要する有効面積を確保するため、切土を伴う造成を行う。なお造成に当たっては出来るだけ、既存の樹木の保全に留意する。
- (5) 構造……設計に当たっては、建物の安全性、経済性、機能性等に留意するほか、台風や高温多湿等の本県の気象条件に十分留意するとともに、身体に障害のある人等の利用にも配慮する。
又、敷地造成と関連して、土地の段差を有効に活かす工夫が必要であり、2階建の構造や地下利用についても検討する。
- (6) 設備……知事公舎には、安全性、快適性を確保するために防犯・警備設備、空調設備等を完備することとし、光・水及び風の利用による省資源・省エネルギーについても、配慮する。
特に防犯・警備については、万全を期するよう留意する。
又、レセプションルームには、大規模災害の発生時に必要な通信設備を設置する。
- (7) 意匠及び外構……知事公舎は、本県のめざす国際都市にふさわしい施設にするとともに、沖縄らしさを感じさせるデザインとする。内・外装は、知事公舎にふさわしい風格を備えたものとする。
修景緑化については、既存の樹木の活用と併せて、熱帯果樹、花木や四季の草花等を配し、建物とマッチした造園計画を行い、国際性と沖縄らしさを創出するよう留意する。
- (8) 駐車場……駐車場は、緑地スペース及び敷地全体との調和を図りながら、レセプションや災害の発生時における利用を考慮して、出来るだけ広く確保する。
- (9) 県産資材……仕上材をはじめ、その他の材料等については、県産資材の優先的使用を検討・配慮すること。
- (10) その他……知事公舎構内に在する拝所については、施設の配置計画及び警備上の問題があることから、敷地内の適当な場所に移設する必要がある。



建設データ

施設名称 沖縄県知事公舎
所在地 那覇市寄宮1丁目7番1号
用途地域 第1種中高層住居専用地域
(建蔽率60%、容積率200%)
主要用途 知事公邸及び私邸
総工事費 646,221,710円

構造

鉄筋コンクリート造 地上2階 直接基礎

規模

敷地面積 6,671.000㎡
建築面積 912.145㎡
延床面積 889.199㎡

工程

設計期間 H 8. 7. 26~H 9. 1. 26
工事期間 H 9. 3. 25~H 10. 3. 6

設計

(有) 仲本設計・(有) 現代建築設計事務所JV

施工

建築 (株) 屋部土建
電気1工区 光電気工事(株)
電気2工区 (資) 琉電工業社
電気3工区 共電工事(株)
空調 桐和空調設備(株)
衛生 久建工業(株)
外構 興建産業(株)
植栽 沖縄園芸(株)

外部仕上

屋根 沖縄県産赤瓦葺き 漆喰塗り
外壁 100×100磁器質タイル貼り
開口部 アルミサッシ着色陽極酸化塗膜複合皮膜

内部仕上

公邸(レセプションルーム)
床 フェルト下地じゅうたん敷き
壁 t6耐水ボード下地t5ケヤキベニヤ貼り
天井 t9石膏ボード下地t19岩綿吸音板貼り
私邸(居間)
床 t15チークフローリング貼り
壁 t5.5耐水ボード下地t5.5ナラベニヤ貼りCL
天井 t5.5耐水ボード下地t5.5ナラベニヤ目透かし貼り

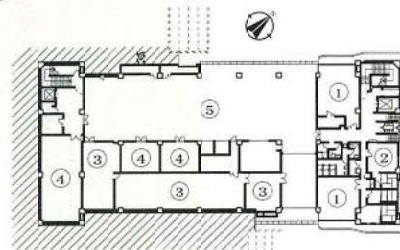
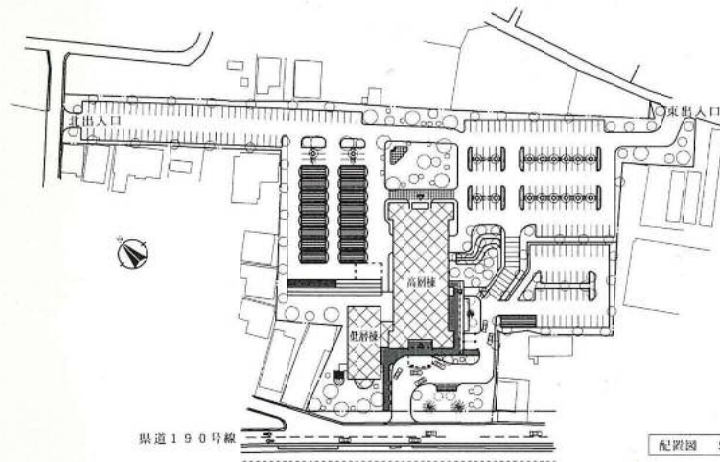
宮古合同庁舎建設工事



上：夜間全景



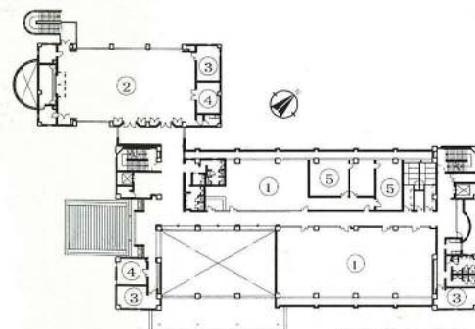
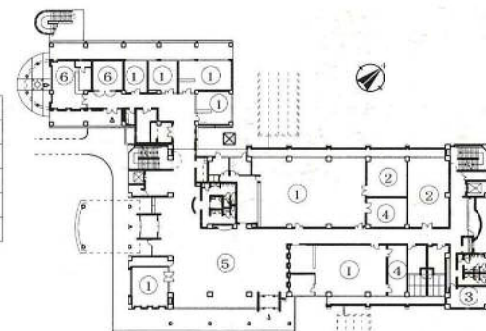
下：八重干瀬ホール内観



- 地下1階
- ① 事務室
 - ② 管理室
 - ③ 電気・機械室
 - ④ 倉庫
 - ⑤ 車庫

地下1階平面図 S=1:800

- 1階
- ① 事務室
 - ② 会議室
 - ③ 電気・機械室
 - ④ 倉庫
 - ⑤ 八重干瀬ホール
 - ⑥ 喫茶室・売店



- 2階
- ① 事務室
 - ② 大会議室
 - ③ 電気・機械室
 - ④ 倉庫
 - ⑤ 支庁長・次長室